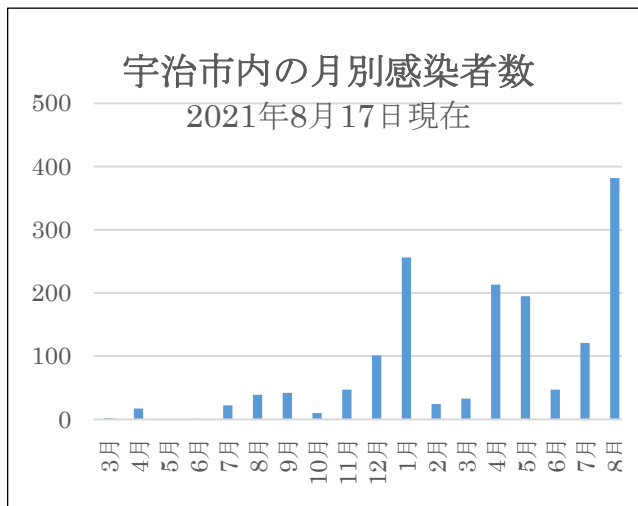


新型コロナ感染症

新規感染者数が宇治でも急増

ワクチンとともに検査拡大と事業者支援を



コロナ感染は「これまでに経験したことがない感染拡大」となっています。宇治市でも、6月にはいったん月間47人となりましたが、7月は121人になり、8月は17日までで382人になるなどかつてない勢いで感染が広がっています。

議員団のアンケート調査

共産党議員団では、市民アンケートを実施しています。

アンケートには、「お客が9割減った」「行動範囲が狭くなり、会話も減り、重苦しさを感じる」「子どもたちがどうなるのか心配。行事がとりやめ、遊び場がない、家でゲームをしたり、漫画ばかり読んでいて心配です」「サークル活動がなくなり、友だちとの交流もなくなりました」などコロナ禍での切実な声が寄せられています。

議員団は、市に対して7次の申入れ

議員団は、PCR検査の拡大、ワクチン接種の集団接種会場への送迎体制具体化、市独自の幅広い事業者支援、国保料や介護保険料の減免制度の拡大など7次にわた

って市に申し入れを行ってきました。

宇治市のワクチン接種状況

8月17日現在で、65歳以上の高齢者の85.7%が2回目の接種を終えています。

現在45歳以上の方について予約がおこなわれ、9月末をめどにすべての方に予約案内が発送される予定です。

国からのワクチン供給は、2週間ごとに届きますが、5月・6月は毎回2万5千回分前後が届いていたのが、7月下旬には1回1万3千回ほどに減少していますが、国・府に安定供給を求めています。

「原則自宅療養」方針の撤回を

菅首相は、コロナ患者急増地域では、入院対象者を重症者や特に重症化リスクの高い患者に限定する方針を打ち出しました。共産党は「在宅死が続出しかねない、あまりにもひどいやり方だ」と方針の撤回を求めています。

新型コロナウイルスの影響をうけ、困ったときには

お気軽にご相談ください。

ご相談はこのQRコードをお使いください



日本共産党宇治市会議員団

議員団だより

2021年8月22日

TEL0774-22-3141